

第10回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会

介護施設等との連携について 千葉での取り組み

千葉県がんセンター 緩和医療科
坂下美彦

内 容

1. 千葉県の取り組み

- 介護スタッフのための緩和ケアマニュアルの作成
- 地域緩和ケア支援事業 など

2. 千葉県がんセンターの取り組み

- 介護施設を含めた在宅緩和ケア患者の入院受け入れの保証
- 医心館（住宅型有料老人ホーム）との連携

3. 千葉の緩和ケアあり方検討会

1. 千葉県の取り組み

1) 「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」作成

平成29年に千葉県がん対策審議会緩和ケア推進部会で作成。住み慣れた施設において最期まで穏やかな療養生活を送ることを支援するのを目的。県HPよりダウンロード可能。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/gan/gankanwa/documents/manu-zenbun.pdf>

2) 介護スタッフのための緩和ケアマニュアル活用支援事業

高齢者施設等へ講師を派遣し講義や演習を行う。

3) 地域緩和ケア支援事業

千葉県がんセンターが委託を受け緩和ケアセンターで実施



地域緩和ケア支援事業（当院緩和ケアセンターが実施）

住み慣れた地域で在宅療養を希望するがん患者が安心して質の高い療養生活が過ごせるよう、在宅緩和ケアに携わる医療従事者等の相談、在宅緩和ケアに関する普及啓発事業。（平成26年開始）

① 医療・介護等の緩和ケア従事者への研修会

講義およびワールドカフェを年2回開催（新型コロナ感染拡大前）

② 在宅緩和ケアに関する資源調査

千葉県がん情報サイト（ちばがんナビ）で公表するため毎年実施
病院・診療所等673施設、訪問看護事業所約400施設調査票の発送

診療所532、200床以上のがん対応病院（拠点病院及び協力病院以外）32、200床未満のがん対応病院61、在宅療養支援病院48

介護施設への緩和ケア提供体制の調査

（地域緩和ケア支援事業ではないが、県が隔年で調査を実施し、ちばがんナビで公表）

特別養護老人ホーム 小規模多機能型居宅介護 軽費老人ホーム 看護小規模多機能型居宅介護 有料老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅等（約400施設）

令和3年度 地域緩和ケア事業研修会開催状況

オンライン（オンデマンド：約1ヵ月間）で実施
在宅支援診療所（381）訪問看護ステーション（462）介護施設（399）など
計1733施設に案内状を送付

- ①「医療職者のための緩和ケア研修会～がん性疼痛マネジメントのエッセンス～」
講師：坂下美彦 527名応募、714回再生

- ②「介護スタッフのための緩和ケア研修会～がん患者の看取りに向けて～」
講師：木村由美子（ラミーナ訪問看護ステーション）

511名応募、367回再生

2. 千葉県がんセンターの取り組み

1) 介護施設等を含めた在宅緩和ケア患者の入院受け入れの保証

今年度より緩和ケア病棟2病棟（53床）運用

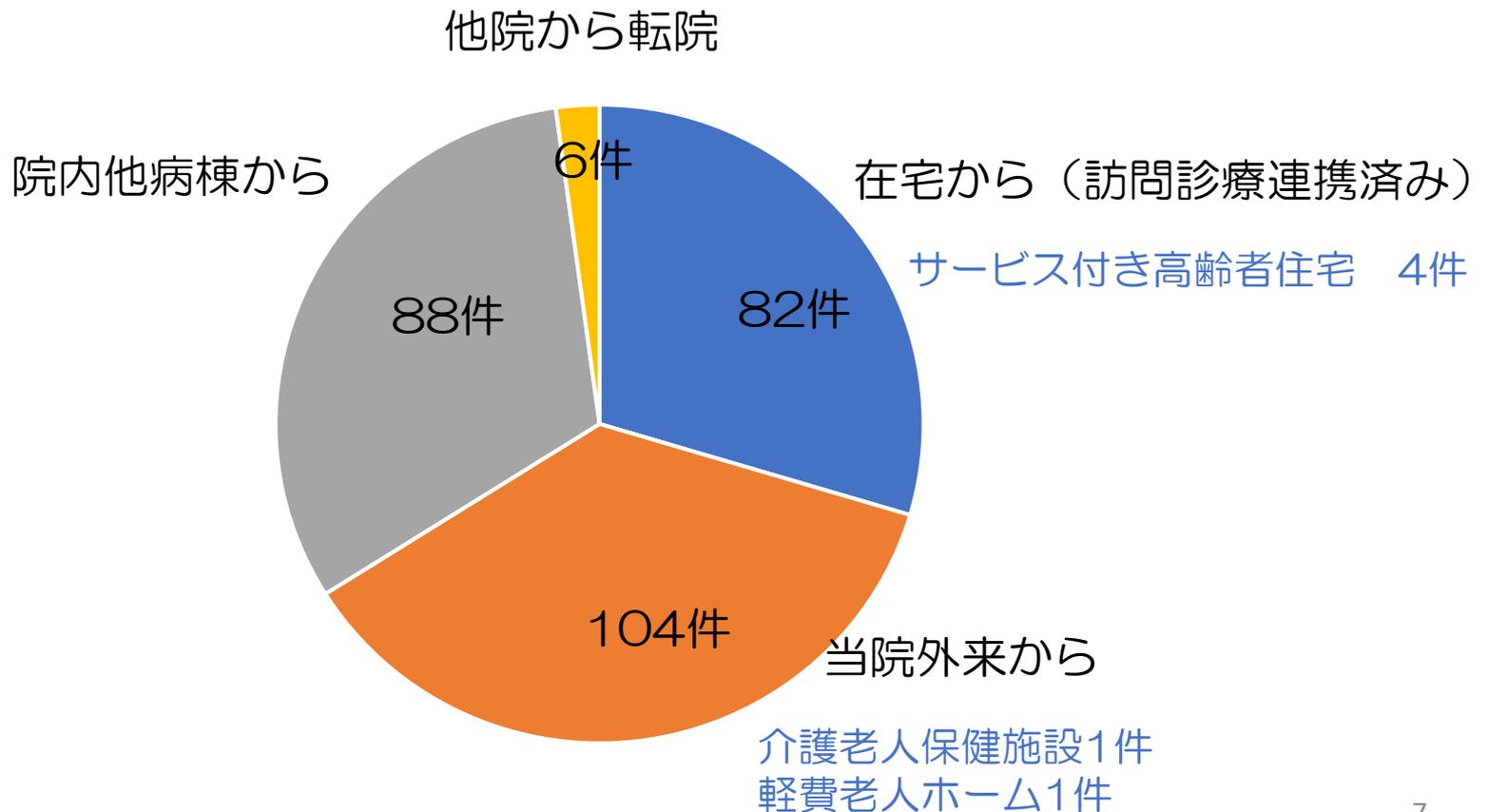
2つの緩和ケア病棟の役割分担

病棟	7B病棟（院内病棟型28床）	C棟（院内独立型25床）
環境	新病院7階 CT検査や放射線照射など便利	別棟平屋建て 緑などの癒し環境あり
主な対象	<ul style="list-style-type: none">・ 外来通院中で入院が必要な患者・ 入院中で今後在宅を希望する患者	<ul style="list-style-type: none">・ 在宅緩和ケア中で入院が必要な患者・ 入院中で今後も入院を希望する患者
コンセプト	家へ帰るのを支援する病棟	在宅のバックベッドと療養

緩和ケア病棟入院患者経路別内訳

2022年4月～9月 緩和2病棟入院患者280件（緊急入院141件）

介護施設等からの入院6件



3. 千葉県の緩和ケアあり方検討会

県内の緩和ケアについて自由に意見を出して議論できる場は限られている。
拠点病院および協力病院を中心に有志のメンバーを募り開催。
話し合いの内容を拠点病院緩和ケア部会や緩和ケア推進部会などで提案予定。

参加協力者（敬称略）

- | | | | |
|-----------------|------|-----------------|-------|
| ・ 国立がん研究センター東病院 | 三浦智史 | ・ 国立がん研究センター東病院 | 小川朝生 |
| ・ さんむ医療センター | 篠原靖志 | ・ 千葉大学病院 | 田口奈津子 |
| ・ 亀田総合病院 | 関根龍一 | ・ 市立海浜病院 | 塩原正之 |
| ・ 千葉県がんセンター | 坂下美彦 | | |
- （オブザーバー： 当院緩和ケアセンター長（藤里） GM（山添）

今年3月より、隔月で計4回開催 （オンライン 各1時間）

話題に上がったこと（例）

緩和ケアリソースの問題

中小の後方支援病院の緩和ケア、専門性の高い緩和ケアに関して
がん医療と地域包括ケアとの接合

認知症や精神疾患をもつがん患者、高齢がん患者（医療の必要性低い）どこで診るか
非がん患者の緩和ケアの問題

オピオイド使用している非がん患者の療養場所、県内に議論する場がない など